



WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

6 月 号

平成30年6月4日

横浜市立東中田小学校

校長 天野 直美

TEL.802-0500 FAX.801-4089

実感して 納得して

校長 天野 直美

5月26日、第51回東中田スポーツフェスタ2018が無事開催できました。実施にあたって6年生を中心に「どんなスポーツフェスタにしたいか」を話し合い、スローガンが決まり、たてわり活動でふれあいを深めながら練習や準備に取り組みました。1回目のたてわり給食も運動会前に行いました。望月学校司書や細野事務職員など、普段一緒に給食を食べることがない教職員もたてわりの教室に招かれ、子どもたちと共に過ごしました。細野事務職員が「こんな機会があるなんてうれしいです。」と笑顔で話していました。長年たてわり活動を生かした学校行事への取組を重ねてきたことで、学校評価において子ども・保護者・地域の皆様から「東中田小はたてわりで子どもが育つ」とよさを実感していただいております。これからも大切に取り組んでいきたいと思っています。フェスタ開催にあたりマナーを守りご参観いただいた方々にまず感謝いたします。さらにPTA役員の方々や中田中学校の生徒の皆さん、そして泉区音頭の中村様にもご協力いただきました。学校や子どもたちに対する温かいご支援に心から御礼申し上げます。

私は高校時代吹奏楽部で出合った女友達4人と毎年1回旅行をしています。2年前の旅行では淡路島に行きました。そこで初めて「鳴門の渦潮なるとうずしお」を見ました。子どもの頃「うずしお」という洗濯機のコマーシャルで見て、「いつか行ってこの目で見てみたいな。」とずっと思っていました。当日は雨が降っていましたが、渦潮クルーズの船は運行していて、私はわくわくしながら乗り込みました。出発時刻表には、渦潮が出現しやすい期間や時間帯も示してあり、潮の満ち引きが渦潮の出現に関わっているようだと気付きました。私が乗り込んだ時刻はちょうど大潮で出現率が高いということが分かり、期待が大きく膨らみました。幸運にも渦潮が大出現。大感激です！何隻かクルーズ船が海上にいて、その中の一艘が果敢に渦潮に近づいていきました。操縦士の舵取りのすごさに胸躍らせ、ただただ見つめていました。

なぜ鳴門にだけ渦潮が出現するのでしょうか。ガイドさんの説明によると、本州と四国の間にある瀬戸内海と太平洋とを結ぶ鳴門海峡(狭い所)で1日に2回ずつそれぞれの海を行き来する速い潮の流れが出現する時に渦潮が出現するのだそうです。そう言われても私の頭の中ではそのメカニズムを理解することが出来ませんでした。しかし『台風の日』だよ。」と友達に言われ、なるほどと思いました。運動会の競技「台風の日」を経験した人なら、渦の外側の人は速く回り、中心が遅く回らないといけないことが分かります。実体験を思い浮かべてやっと納得できました。

今年度は理科支援員の三觜先生みつはしがおいでになり、子どもたちが一人ひとり自分の仮説に基づいて観察・実験から検証を行える環境を整えてくださいます。理科の授業を通し、実感し、自分の疑問に納得して、答えを見いだした時の子どもたちの笑顔がたくさんみられるかと思うと、再び心がわくわくしてきます。